

# 令和4年度全国学力・学習状況調査結果について

1 実施日 令和4年4月19日（火）

2 調査対象 第3学年生徒127名

## 3 調査内容

(1) 教科に関する調査（国語、数学、理科）

- ①身につけておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
  - ②知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等
- 上記①と②を一体的に問う。

(2) 学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問紙調査

## 4 調査結果

(1) 教科に関する調査

国語は、おおむね全国平均でした。  
 数学は、全国平均を下回っていました。  
 理科は、全国平均を下回っていました。

(2) 生徒質問紙調査

### 成果が見られた項目

- 家で自分で計画を立てて勉強をしていますか。
- 学校で、学級の生徒と意見を交換する場面で、ICT機器をどの程度使っていますか。  
（「ほぼ毎日」「週3日以上」と答えた割合）
- 学校で、自分の考えをまとめ発表する場面で、ICT機器をどの程度使っていますか。  
（「ほぼ毎日」「週3日以上」と答えた割合）
- 人が困っているときは、進んで助けていますか。

### 課題が見られた項目

- 読書は好きですか。
- 自然の中で遊ぶことや自然観察をすることがありますか。
- 地域の行事に参加していますか。

## 5 学力向上の取組

今回の調査結果では根拠を明確にして自分の考えをもち、それを相手に説明することに課題が見られました。次の点について重点的に取り組んでいきます。

- ・生徒が主体的に取り組む課題の設定
  - ・生徒同士が話し合い学び合う場の設定
- 特に、自分の考えを説明する場面でのICTの効果的な活用

## 6 保護者・地域の皆様へ

生徒の学習環境・生活環境づくりについて、次の点で家庭や地域の方々のご協力をお願いいたします。

- 家庭学習について
  - ・引き続き家庭学習時間の確保
- 読書について
  - ・家庭で読書する習慣づくり
- 自己肯定感や自己有用感について
  - ・頑張りやを認め、できたことを褒める成功体験の積み重ね
- 地域行事等への参加について
  - ・多くの人とのふれあいの中で、地域のよさや地域の課題に気づかせる